

エコセメント化施設の水質等調査結果について（概要） （平成18年度）

平成18年度にエコセメント化施設で下水道への放流水の水質や排出ガスについて実施した調査結果の概要である。

調査結果から、周辺環境に影響を及ぼしていないことが確認された。

1 水質の調査結果

① 下水道への放流水（重金属回収設備からの排水を処理した後、下水道に放流している水）

健康項目のうち、金属類ではカドミウム、総水銀及びセレンが検出されたが、下水道排除基準値(カドミウム、セレンともに0.1mg/L、総水銀0.005mg/L)を下回っている。その他の金属類は、すべて検出されず、その他の項目でも下水道排除基準を十分満足した。

2 排出ガスの調査結果

① 焼成炉排ガス（エコセメント化施設のうち焼成炉からの排ガス）

排ガス中の窒素酸化物、硫黄酸化物、塩化水素、ばいじん、水銀について測定を行った結果、全ての項目で厳しい基準として定めた自己規制値を下回っていた。

② 乾燥機等排ガス（エコセメント化施設のうち乾燥機等からの排ガス）

排ガス中の窒素酸化物、硫黄酸化物、塩化水素、ばいじん、水銀について測定を行った結果、全ての項目で厳しい基準として定めた自己規制値を下回っていた。

なお、検出されないとは、それぞれの化学物質ごとの定量下限値（数値を量ることができる最低のレベル）未満のことをいう。

調査結果の詳細は、エコセメント化施設の水質等調査結果について（平成18年度）に登載